作物の種類	クフェア	114(05019)	1次必須項目

項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	草型	区	観察		立型								叢生	成熟期の草型（主茎と1次分枝の発達の程度）
2	草丈	10個体	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										成熟期における最長茎の地際から頂端までの長さ
3	花序の型	区	観察		混在								独立	花序として独立しているか, 葉と花が同一茎に混在しているか
4	開花期	区	観察	月 日										全個体の40～50%が開花を始めた日
5	成熟期	区	観察	月 日										全個体の80～90%が成熟した日（下部のさく果の種子が黒褐色を帯びた時期をもって成熟とする）
6	粒色	区	観察				緑	緑褐色	茶褐色	黒褐色	黒			完熟粒について調査する

作物の種類	クフェア	114(05019)	1次選択項目

項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	花色	区	観察				薄紫色	紫色	赤紫色	赤黒色				花冠の色
2	花冠の形	区	観察	無									有	花弁の有無
3	粘性毛の有無	区	観察	無									有	茎の粘性毛の有無
4	1さく果当たり種子数	10莢	測定	個（小数第1位を四捨五入）										下部から1／2の位置にあるさくを脱粒前に保存し調査

作物の種類	クフェア	114(05019)	2次必須項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級　・　単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	耐倒伏性（1）	区	観察		極弱		弱	やや弱	中	やや強	強		極強	成熟後期における茎の倒伏程度から判定される耐倒伏性の程度
2	耐倒伏性（2）	区	観察		極弱		弱	やや弱	中	やや強	強		極強	穂のなびき程度から判定される耐倒伏性の程度

作物の種類	クフェア	114(05019)	2次選択項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級　・　単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	休眠性	100粒	測定		無		短		中		長			採種6カ月後における発芽率を調査し分級する
2	低温発芽性	100粒	測定				弱	やや弱	中	やや強	強			異なる温度条件で発芽勢を調査し分級する
3	脱粒性	区	観察				易	やや易	中	やや難	難			成熟時における脱粒の難易の程度

作物の種類	クフェア	114(05019)	3次必須項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級・単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	子実収量	区	測定	kg/a（小数第3位を四捨五入）										単位面積当たりの屑粒を除いた風乾子実重
2	1000粒重	1000粒	測定	g（小数第2位を四捨五入）										風乾した完全子実1000粒の重さ
3	含油率		測定	%（小数第2位を四捨五入）										所定の方法による
4	油の脂肪酸組成（カプリル酸含量）		測定	%（小数第2位を四捨五入）										抽出油中のカプリル酸をガスクロマトグラフで分析算出した含有率
5	油の脂肪酸組成（カプリン酸含量）		測定	%（小数第2位を四捨五入）										抽出油中のカプリン酸をガスクロマトグラフで分析算出した含有率
6	油の脂肪酸組成（ラウリン酸含量）		測定	%（小数第2位を四捨五入）										抽出油中のラウリン酸をガスクロマトグラフで分析算出した含有率
7	油の脂肪酸組成（ミリスチン酸含量）		測定	%（小数第2位を四捨五入）										抽出油中のミリスチン酸をガスクロマトグラフで分析算出した含有率